

KiKO NEWS

遊技産業健全化推進機構ニュース



遊技産業健全化推進機構

特集・ゴトを考える「ゴト対策に取り組む有力ホールの実態」
誓約書記載内容の変更に係わる手続きについて
サービス産業としてのパチンコ店経営 平野宏
「健全性確保のためのもうひとつの視点」 三堀 清

3

MARCH 2008



CONTENTS

3	March 2008	特集・ゴトを考える「ゴト対策に取り組む有力ホールの実態」	1
		機構の窓から「地球温暖化を防ごう」	9
		誓約書記載内容の変更に係わる手続きについて	10
		サービス産業としてのパチンコ店経営(第2回)平野宏	12
		パチンコと私 水沼宣之	16
		パチンコと私 田村正彦	17
		パチンコと私 大橋旬子	18
		パチンコ・パチスロ青春記	19
		「健全性確保のためのもうひとつの視点」三堀 清	22
		データでみるパチンコ業界	25
		お知らせ	28

特集

ゴトを 考える 6

ゴト対策に
取り組み
有カホー
力ホー
ルの実態

ゴトの現状と対策。これまで5回にわたりさまざまな角度からゴトを取り上げてきた。ゴトはパチンコとともに生まれたとも言われるほど歴史は古い。ゴト師とそのグループは性懲りもなく、多種多様なバージョンを展開してホール関係者を悩ませ続けている。もちろんホール側も手をこまねいてはいない。この特集ではゴト行為の流れ、現状を出来るだけ客観的に伝えるとともに、業界、特に若手経営者を中心にゴトの撲滅に取り組んでいる活動も取り上げてきた。今号では有力ホールの協力でホールが取り組んでいるゴト対策の一端を紹介する。

ホールにとってゴトは天敵以上に忌むべき存在だ。ほとんどのホールは当然のことながら、この天敵を仕留める手の内は明かしたくない。常識を超えたあらゆる手を使って忍び寄りてくる病魔のような相手に封じ込めようと言うのだから秘策に触れたがらないのは理解できる。こうした機運の中で、あえて「自分のホールの対策を明かしても構わない」

と名乗りを上げたのが東京都練馬区に本社がある株式会社ミリオンインターナショナルの小島豊代表取締役だ。都遊連（東京都遊技場組合連合会）の副理事長を務め、かつて都遊連の青年部会の世話人としてゴト撲滅に立ち上がった一人で、ゴト情報の共有化を目的としてA-NEETを立ち上げた主役でもある。これまで本誌のゴト特集で多くの方々が口にして

きた「箴言（しんげん）」「いさめの言葉」。 「ゴトを防ぐには業界が一つになって行動しなければ効果がない」「業界がまとまるには情報を共有するのが早道」「不正を無くさなければ業界の展望は開けない」などに共感されるところがあったのか。今回の英断には、ホール関係者が自分の店で実際に手がけているゴト対策を情報として共有して欲しいと言

「ゴト行為は決して許さないぞ」という
 ミリオンインターナショナルの強い決意が
 カラーの図表に浮かんでいるように見えた。



う願いもあるようだ。同社のゴト対策を紹介する。

ミリオン インターナショナルの ゴト対策

A-NEETによる被害情報の共有化と危機意識の醸成

①「ファイル化」

毎日送られてきた情報をプリントアウトし、ファイル化。スタッフの休憩室などに保管。（情報の共有）

②「見える化」

被害件数の機種名、ゴトに狙われやすく自店の設置台数が多いものについてはスタッフがよく通る場所に情報を掲示。（情報の確認）

*スタッフ用のトイレ、ホールに出る前の扉等に掲示。

A-NEETは本誌11月号（ゴト特集）でも紹介したが、都遊連青年部会がゴト情報の共有化を図って平成4年末に開設した情報ネットワークだ。



株式会社ミリオンインターナショナル 小島 豊 社長

常がないかチェックを行う。

④ 誤差玉チェック

該当台の特定と原因の徹底究明。

(本社へ報告書提出)

⑤ 警備カメラの死角排除とオープン

センサーの活用

24時間録画と警備会社の即応システム。

⑥ 店舗への不審電話の注意喚起

(抱き込みへの警戒体制の確立)

⑦ 抜き打ちチェック

本社スタッフによる、各店舗の抜き打ち検査を行う。

(*3ヶ月に1回程度)

ゴト発見時の注意事項 II 社員の安全確保優先

証拠確保優先と発見時の深追い厳禁。通報による警察官到着時まで直接的な対応は控える。

「定期的に行う検査」の指示は、都遊連青年部会による「不正チェック16か条」(7頁参照)と重なる部分も少なくないが、より具体的な内容になっている。②ゴト被害件数の多い箇所は、ほぼ毎日チェックする、

③営業中に毎日4回データ異常をチェックする、④誤差玉チェック、⑥

店への不審電話に注意、など、いず

れもチェックの手順が一段と厳しさを増した。

ミリオンインターナショナルのゴト対策を明かしながら小島社長は図表(次頁)を広げた。「店舗によっては次のような早見表を作っている。ホール廻りの際に、どのようなことに注意したらよいかをスタッフに徹底して、ゴトの早期発見に役立つように」と言う狙いがあると言う。注

意点が細かく、具体的に書き込まれたカラーのチャートを見る限り、確かに分かりやすく、スタッフの動きや目配りは効率よくなりそうだ。「ゴト行為は決して許さないぞ」というミリオンインターナショナルの強い決意がカラーの図表に浮かんでいるように見えた。

ゴト情報配信体制

ゴトに関する情報の収集および配信は次のように行う。

①情報の収集

AINET・全日遊連ほか各方面よりの情報を専門部署が収集。自社店舗で起こった事案についても専門部署が調査し、情報として蓄積。

②情報の速報配信

収集した情報を専門部署が必要に応じて加工し、ダイジェストで全店舗に配信。

③情報の蓄積

収集した情報を専門部署にてデータベース化。店舗においてもウェブサイトを用いて適宜検索が可能な状態になっている。

④新台入替時の情報配信

前記のダイジェストの外、新台入替時にその都度、導入台のゴト情

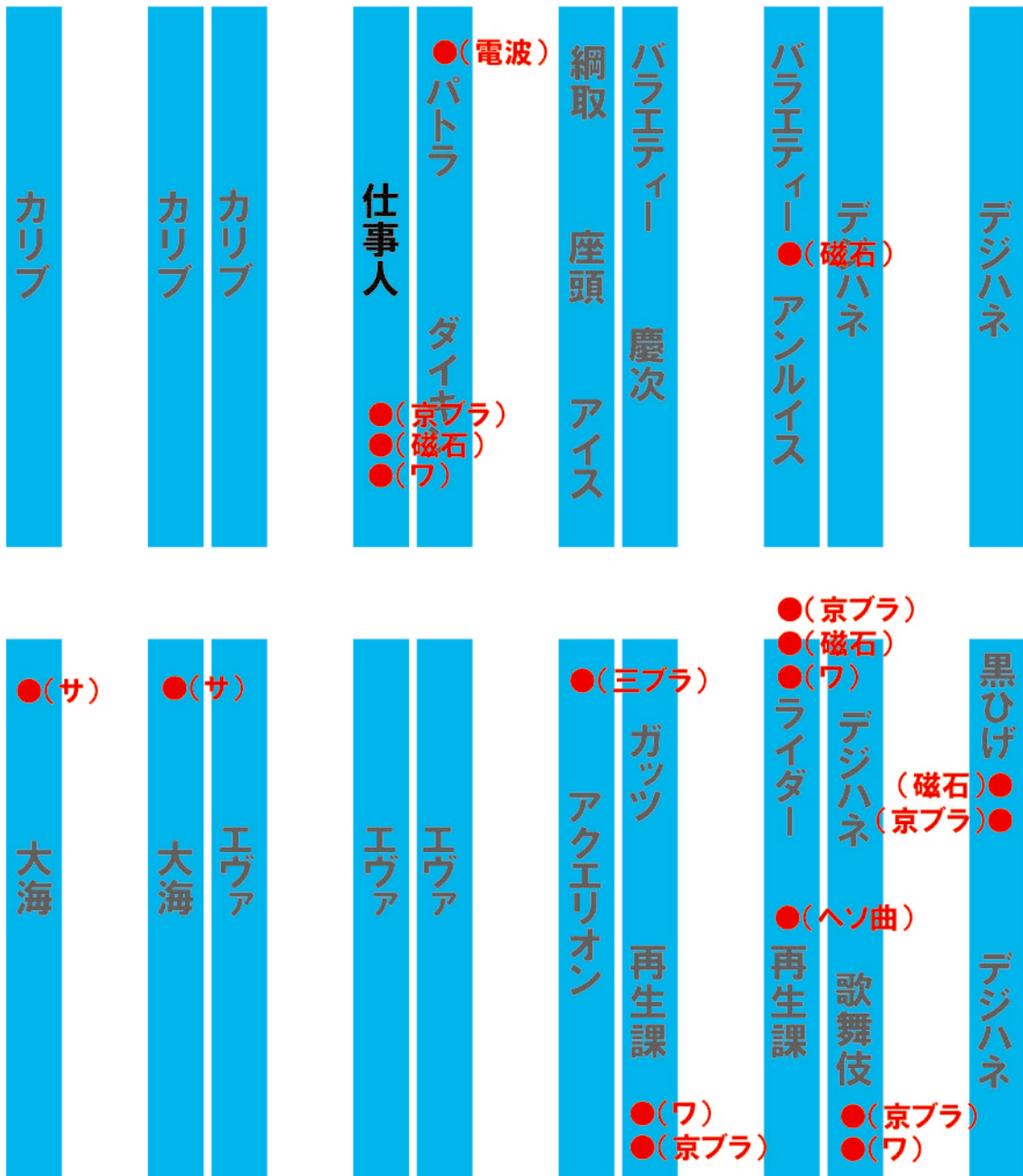


ゴト特集取材班に1月下旬、都内

MILLION1100 SECURITY GROUP



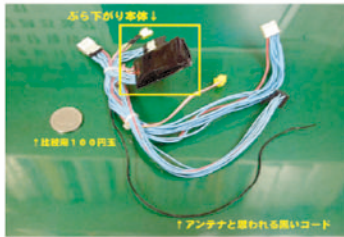
A館ホールでは ココをチェック!!



注意点が細かく、具体的に書き込まれたカラーのチャートを見る限り、確かに分かりやすく、スタッフの動きや目配りは効率よくなりそうだ。

最近のゴト事例

●京楽ぶら下がり(京プラ)



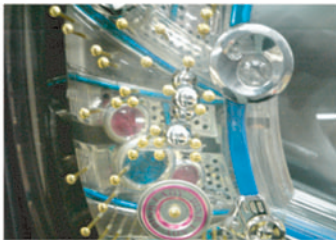
主にスタートセンサー(黄・ピンク)のどこかに付けられている可能性有。台を開けて主基盤周りのチェック！

●三共ぶら下がり(三プラ)



台を開けずして付けることが出来る。下皿からセルを挿入して、スタートチャッカー裏付近に付けられてしまう。裏から確認することは困難。

●磁石ぶどう(磁石)



磁石でワープ付近にブドウを作り、スタートに入りやすくする。盤面を触っていたら要注意！

●サイドポケット釘曲げ(サ)



ピアノ線等で釘を曲げ玉持ちを良くする。隣と比べて明らかに釘が開いているのが特徴！

●ワープ曲げゴト(ワ)



ピアノ線等で釘を曲げ玉持ちを良くする。隣と比べて明らかに釘が開いているのが特徴！

●台叩き・台ゆすり(叩き)

遊技台を「叩いたり」「ゆすったり」して不正に大当たりを出す。羽根物や役物で大当たりを抽選する機種で行われやすい

(カッコ内は略称)

上記以外でも様々なゴトがあります。また、全台で玉の持ち込みもあります。「何か違和感がある」「少しでも怪しい」と感じたらインカム報告！！

「店舗によっては次のような早見表を作っている。ホール廻りの際に、どのようなことに注意したらよいかをスタッフに徹底して、ゴトの早期発見に役立つように」

報を再度まとめたものを専門部署が配信。

これにより、店舗は新台導入時に確な確認が行える。また、中古台や二次使用機導入の際にも、過去の情報を再度専門部署より配信する。

新台導入時の保安作業

店舗に遊技台が導入されるに当たり、店舗および専門部署はそれぞれ次の作業を行う。

⑤ 店舗の作業

基板台帳の作成

配信された情報に基づいた新規遊技台のゴトチェック

配信された情報に基づいたゴト対策部品の取り付け

⑥ 専門部署の作業

(新台導入日より1週間以内に店舗に入室し実際に確認する)

基板台帳の確認

新規導入台のゴトチェック

基板へのマーキング・ブラックライトによる確認(専門部署のみ確認可)

自社製封印シールの貼り付け

ゴト対策部品の取り付け状況確認

ゴト対策部品

⑦ 変更届出書の管理

変更届出書の作成は専門部署にて一括で行う。

店舗は所轄警察署に書類提出の後、期限内に所定のフォーマットを用いて提出完了の旨を専門部署に報告する。

専門部署は報告に漏れがないかを確認し、期限までに確実に提出されるよう管理する。

⑧ 取り付けおよび実地確認

店舗は配信された情報に基づいてゴト対策部品を取り付ける。

専門部署は、前記の店舗における新台の実地確認の際に、変更届出書どおりの取り付けがされているかを確認する。

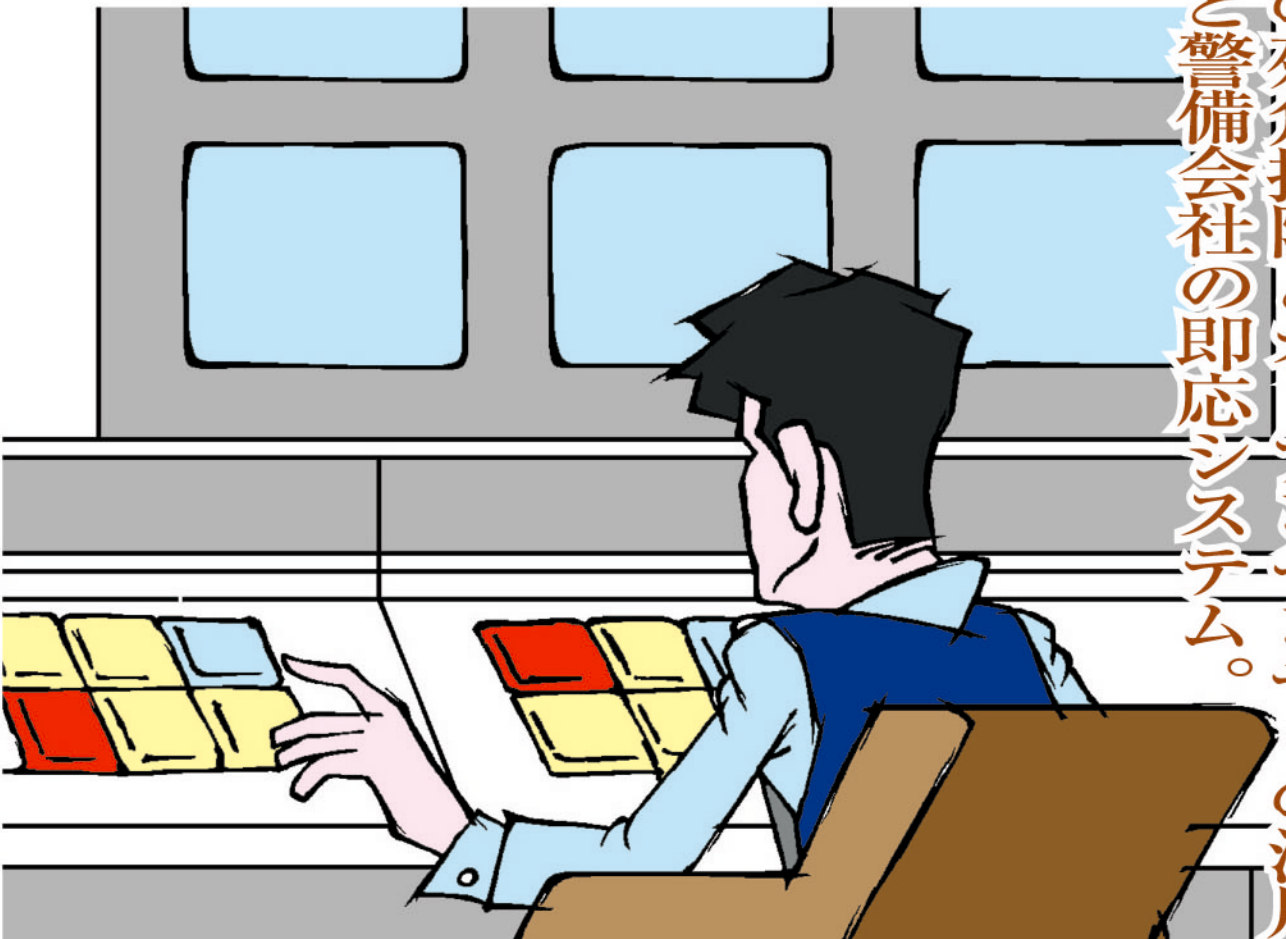
合わせて、以前に取り付けた対策部品の状態を定期的に確認する。

⑨ 新規対策部品の開発

各方面より入手した情報を元に、新規事案に関しては専門部署にてゴト対策部品をデザインし、専門のメーカーに開発を依頼する。

この場合、取り付けの作業および変更届出書の処理は前記に準じ、全店一括で行う。

警備カメラの死角排除とオーブセンサーの活用 24時間録画と警備会社の即応システム。



『出来てますか？ 不正チェック16ヶ条』

<新台納入時>

- ロム台帳の作成。
- 封印シール、インシュロック等独自の不正対策の実施。

<日常業務>

- 毎日の目視点検の励行。（台数の多い場合は区分けして）
- 清掃等外部業者の入店時は、とくに遊技台チェックを念入りに行う。
- 監視カメラの死角がないか、拡大録画は可能か確認（ジェットカウンターや券売機も）。
（ビデオは24時間録画で、1週間分は保存しましょう）
- 自分の持ち場をたえずインカムで報告する習慣をつけましょう。
（営業中、見慣れぬお客から妙に引き留められたら、すぐインカムで報告する）
- 玉計数機（ジェットカウンター）周辺を用もなく、うろつく人物は要注意。
- 午前中、カウンター要員はカウンター前に一步出て、全体への気配りに努めましょう。
- 不正に限らず店内トラブルは、すぐ110番。

<店長業務>

- 社員の安全確保／捕まえるよりも不正をさせない工夫の徹底を図りましょう。
- ミーティングでA-NETなどを活用し、問題意識の共有化を図りましょう。
（不正情報を開示してスタッフとの危機意識の共有化に努め、
また事件の際は、自ら情報発信して被害の拡大を防止しましょう）
- データ管理の徹底／毎日のデータだけでなく、期間データもチェックする。
- 警備会社の報告書をうのみにしない。
「侵入異常発生・点検後異常なし」の報告書が出された場合でも、翌日は台チェックを徹底する。
- 退店時は監視カメラで外周点検確認後、退店する。

<本社業務>

- 本社要員による定期的な現場対策の確認。
（月2回は目視点検を）
- 従業員採用時（パート・アルバイト含む）は、住民票等身分証明書の確認。

以上のチェックが行われていれば、あなたのホールは万全です。
このチェック項目のひとつひとつがあなたの身を守り、お客様を守り、社会を守ります！

都遊連青年部会

（これを店内事務所に掲示し、日常点検に活用して下さい）

営業時のゴト行為防止について

⑩誤差の確認

毎日、店舗より送られてくる書類を元に、景品誤差、誤差玉のとりまとめを行う。

一定の期間を集計したデータから、ゴト行為の可能性を検証し、必要と考えられる店舗に対して調査を行う。

⑪営業データの確認

店舗のホールコンピュータと回線の繋がった専門部署のホールコンピュータで、店舗の営業データ（入賞・ベース等）をリアルタイムで確認し、店舗のデータチェックの補完を行うと同時に、専門部署内で異常データの検出を行う。

必要に応じて専門部署と店舗間で連携を取り、ゴト行為が発見された場合はしかるべき対処を行う。

今号では都内の2社からゴト対策に関する貴重なノウハウの提供を頂き、ご紹介した。他のホールでも是非、ゴト対策の参考として頂きたい。

最近のゴトは悪質巧妙化している。一昔前のように1台で数十万円を抜いたりするような行為はあまり聞かなくなった、これは彼らが表面上、

ゴト対策はホールのためだけでなく、業界全体のため、そして大切なお客様を守るためにも必要なことなのだ。

わかり辛い方法をとっているためであり、被害金額は同じか、もっと増加している可能性だってあるのだ。数年前、関東近県のホールでゴト師が従業員を抱き込んで大規模なゴトを仕掛け、しかも発見が遅れたケースが新聞報道されたことがある。1店舗の被害が数億円と言われている事件である。

ゴト対策は非常に時間と手間のかかる作業だ。しかし、全ホールがこういったゴト対策をとるようになれば、ゴト師側もつけ入る隙を見つけないとが難しくなるのではないだろうか。

ゴト対策はホールのためだけでなく業界全体のため、そして大切なお客様を守るためにも必要なことなのだ。前述の被害金額は業界全体を蝕み、そして大切なお客様も巻き込んでしまっていることを業界関係者は忘れてはならない。



機構の窓から

地球温暖化を防ごう

小正月(陰暦1月14-16日)とか「数入り」(盆と正月に奉公人が親元に帰る休日のこと)なんて言葉は落語の世界でしか聞かなくなりましたが、神田小川町にいると小正月は身近なものになる。何せ下町だから初詣出から始まる正月行事はきちんとやる。15日になると商店街に幟が立つ。「神田雪だるまフェア」を告げる3種類の幟だ。今年(25日)から27日まで小川町の交差点の角々に4つの雪だるまが登場する報せだ。今年で7回目。昨年の小正月夜、突然雪だるまが出現したのは驚いた。暖冬の昨年、汗まみれの雪だるまはわずか2日で解けて消えてしまったが、仕事帰りのサラリーマンも学生も酔っ払いも足を止めて和やかな気分になったものだ。今年(寒い冬)だから「汗をかく雪だるま」ではないと思うのだが、そうも行かないか。何しろ地球の温暖化は猛烈な勢いで進んでいるから。

このまま有効な対策がなければ今世紀末には平均気温が最大で6・4度上昇する、と「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)は警告している。昨年の夏思い出したくもないが埼玉県熊谷市、岐阜県多治見市で最高気温40・9度を記録した。あの暑さに単純に6度プラスしたらいいってどうなってしまうのだ。気温上昇の原因は生活の便利さを求めた人間の吐き出す炭酸ガスなのである。やはり人災。

気温が上がるとどうなるか。一口に言えば干ばつによる農業被害や蒸発による水不足、海面上昇による洪水、感染症の蔓延などが予想される。(1/15 読売新聞社説)

干ばつでアフリカではラクダにやる草がない。沖繩でしか収穫できない島バナナが突った。

福島市のリンゴ園では12月になってもかなりの量の「ふじ」が色づかずジュース用になった。(朝日・環境元年)

北極の氷壁が溶けてなくなった。

南極の水、減少速まる 温暖化原因か(1/14 日経朝刊)

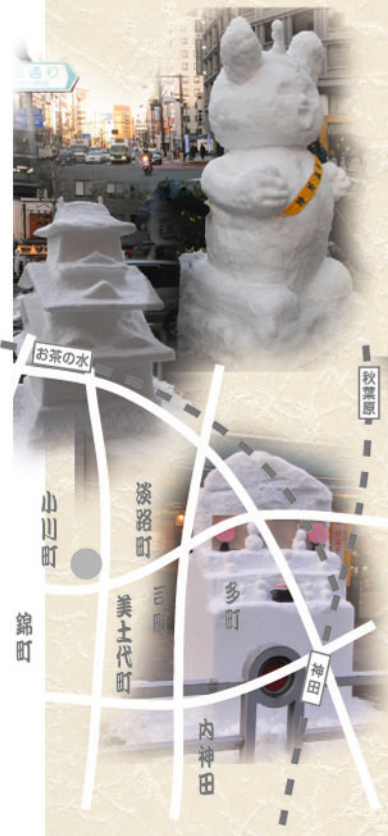
など実際の被害も報道されている

今年(温暖化防止に立ち上がった「京都議定書」スタートの年だ。世界中の炭酸ガスの排出を6%減らそうという試みだ。だが実際は排出量の一番多いアメリカと急成長で多量の炭酸ガスを出している中国、インドなどが不参加なのだ。では意味がない、などと言っただけはない。例えば全事業所全家庭がエアコンの温度を2度緩和する。ネオンなど電気の使用量を少し減らす。(コンビニの24時間営業や東京タワーの電飾も要検討)。車の使用を減らしアクセルをふかさないなどが肝心だ。ニュージーランドでは4000万頭もいる羊のゲップが温暖化の原因だといひ、学者がゲップが出ない方法を研究中だ。

遅ればせながらわが業界も温暖化防止に立ち上がった。全日遊連(山田理事長)・日遊協(深谷会長)もホテルの温度の問題や環境問題の教育など検討を始めている。いずれメーカーも温度を低く抑える遊技機の開発を進めることだろう。結構なことだと思ふ。

洞爺湖サミットの議長国、全業界のトップを切って削減を実現して欲しい。「羊に負けるな」である。温暖化、関心は全国に広がっている。東洋大学の募集している学生百人一首の中にも温暖化が取り上げられている。

「南極の 氷を溶かす温暖化 海面上がり島がおぼれる」 東京都工業高校1年 〃こうなってはならない。(勝)

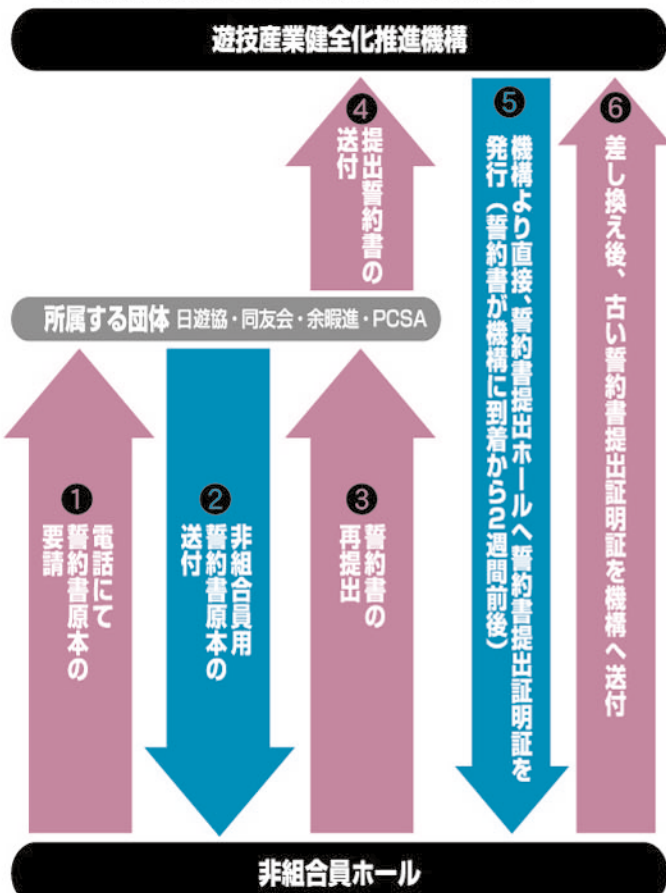


誓約書の 内容が変わったら すぐ手続を

昨年の4月から誓約書を提出されたホールは、機構のホームページにホール名を掲載させて頂いております。機構のホームページでも誓約書の内容に変更があった場合、必要な手続きについて掲載しておりますが、依然としてお問合せも多いことから、再度ご確認ください。ため、誓約書に記載された事項に変更があった場合の手続きについて、ご案内させていただきます。

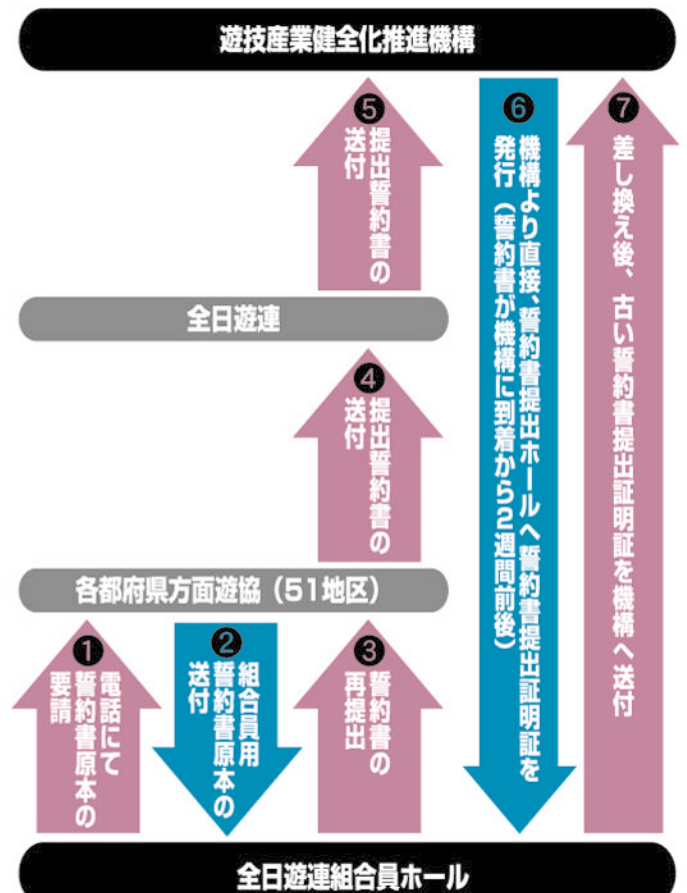


2 所属する組合のある非組合員ホールの場合 (全日遊連傘下部県遊協以外で所属する団体がある場合)



※提出した誓約書の記載事項に変更がある場合には、必ず新たな誓約書を再提出してください

1 全日遊連傘下の組合員ホールの場合



※提出した誓約書の記載事項に変更がある場合には、必ず新たな誓約書を再提出してください



変更がある場合には、速やかに変更した（正しい）誓約書の提出を！

誓約書記載事項の変更例

- 店舗を経営する会社が変わった！ → 法人名の変更（訂正）
- 店舗を経営する会社が移転した！住所が変わった！ → 法人所在地の変更（訂正）
- 店舗を経営する会社の代表者が変わった！ → 法人代表者の変更（訂正）
- 店舗名が変わった！ → 店舗名の変更（訂正）
- 店舗が移転した！住所が変わった！ → 店舗所在地の変更（訂正）
- 記載事項に記入ミスがあった！ → 該当する項目の変更（訂正）



誓約書の記載事項に1か所でも変更があれば、必ず再提出して下さい。

上記の誓約書の記載事項に変更があった場合は、全て新規の誓約書にご記入いただいた上で、再提出をしていただきます。

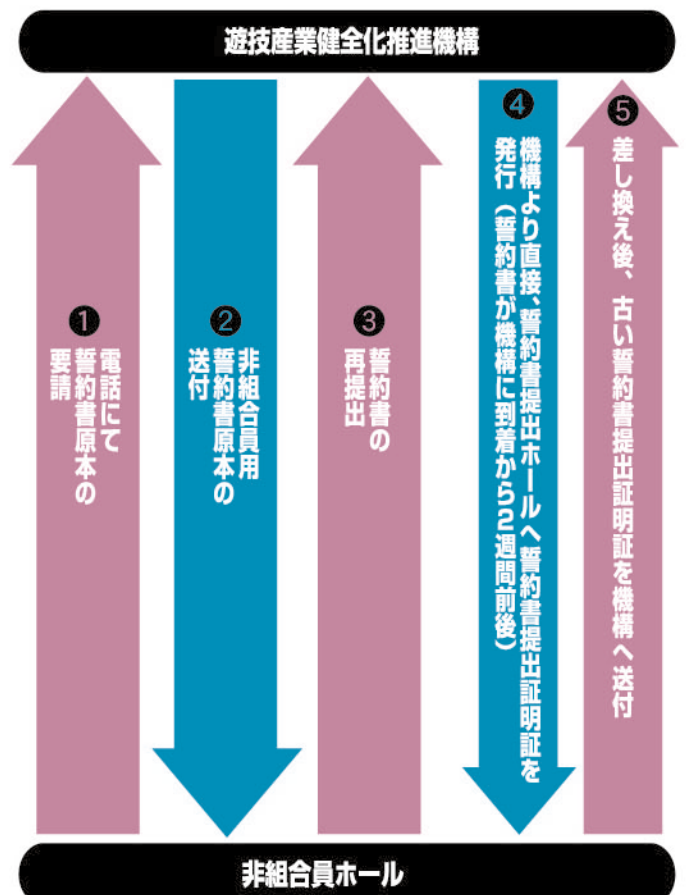
その際、全日遊連傘下の組合員ホール様につきましては、所属する都府県方面組合にお問合せの上、誓約書原本をお求めください。

組合等に所属されていないホール様につきましては、機構ホームページお問合せフォームよりご要請いただくか、機構（☎03-3518-2062）まで直接お問合せください。

新たに誓約書を提出していただいた際には、必ず、誓約書提出証明証を提出ホール宛に直接お送りいたしますので、到着次第、変更前の誓約書提出証明証と差し替えていただき、店舗への掲示をお願いします。

差し替え後、変更前の証明証につきましては、機構まで必ず返送をお願い致します。

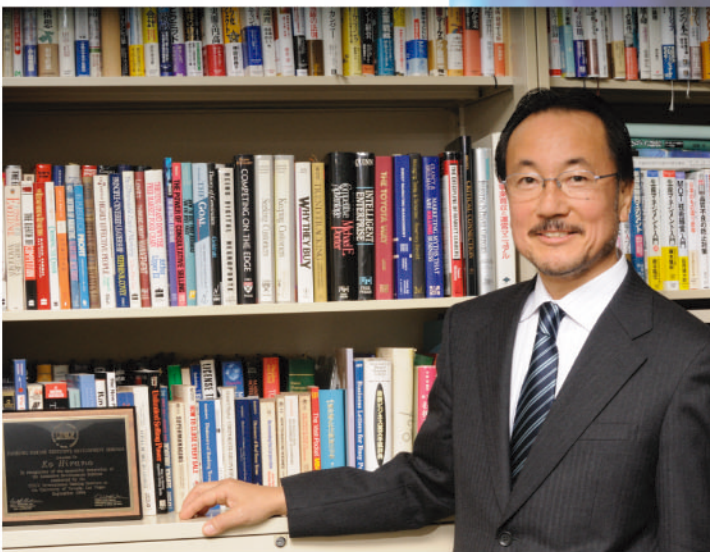
3 どの団体にも属していない非組合員ホールの場合



※提出した誓約書の記載事項に変更がある場合には、必ず新たな誓約書を再提出してください

サービス産業 としての パチンコ店経営

第2回 サービスの特徴(2)



エンタテインメントビジネス総合研究所
代表取締役会長

平野 宏

<プロフィール>

1976年東京大学法学部卒業、三菱商事株式会社入社。ガーナ駐在等を経て情報産業分野での起業企画、日米間のフランチャイズビジネスのライセンス、コンサルティング、M&A等に従事。1991年同社退職。

翌年株式会社エース（現エンタテインメントビジネス）総合研究所を設立し、1996年1月より同社代表取締役会長。

本稿では、早稲田大学サービスマネジメント講座で担当しているサービスマネジメント概論の「概要」をご紹介します。このことにより広く全国のパチンコ店の方々の経営のヒントとなり、更に講座への興味を持って頂ければ幸いです。

前回において、サービスをモノと比較した場合の特徴を7つ挙げ、そのうちの(1)無形性、(2)変動性、(3)同時性の3点を説明した。今回はそれに続き、残る4点の特徴を説明していく。

4 顧客との共同生産

顧客との共同生産とは

サービスは、前回は説明した同時性だけに留まらず、更にサービスの生産現場において顧客同士が相互に影響しあい、顧客が積極的に役割分担まで行う場合がある。モノの場合は、生産は基本的に工場で生産者のみが行う。「あのお店は客層が良いから居心地が良い」等という顧客の感想は、顧客同士が影響をしている典型である。

パチンコ店での不満点の多くに、「他の客の行動」という意見がある。「他のお客様のご迷惑になりますのでお止め下

さい」等と注意しなければならない状況は、共同生産に失敗していることになる（図1参照）。

共同生産の側面を武器に

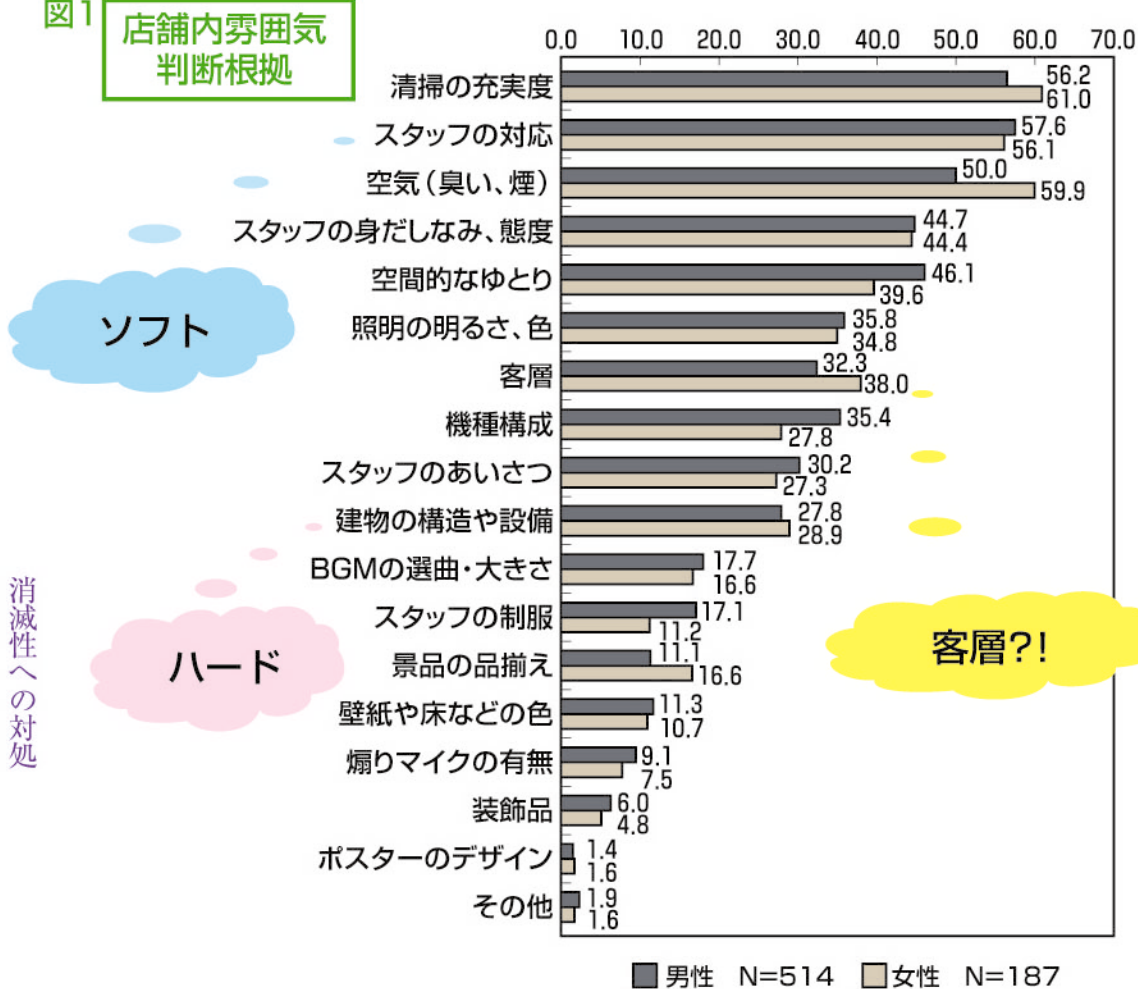
労働集約的なサービス形態では、顧客の役割分担を上手に設計して、運営コストのセーブと共に「お得感」や利便性、何らかの利益を顧客に感じて頂くことが成功要因と成り得る。ファミリールレストランにおけるサラダバーやドリンクバーは成功例である。玉運びを顧客に分担して頂きたい場合、顧客側の利益をどのように組み立てるかが課題となる。

5 消滅性

消滅性とは

サービスを提供する仕組みは、今この時稼動しなければモノのように在庫をして明日の販売に備えることができない（モノでも消費期限のあるモノはこの限りにあらず、のはずだった）。今日のホテルの空室、飛行機の空席、パチンコ店の空台は明日販売できない。明日売ったとしても、それは明日売るべきものだったということである。作り置きや在庫ができないという意味でサービスは消滅性がある。これは、裏返すと需給の大きな変動

図1 店舗内雰囲気判断根拠

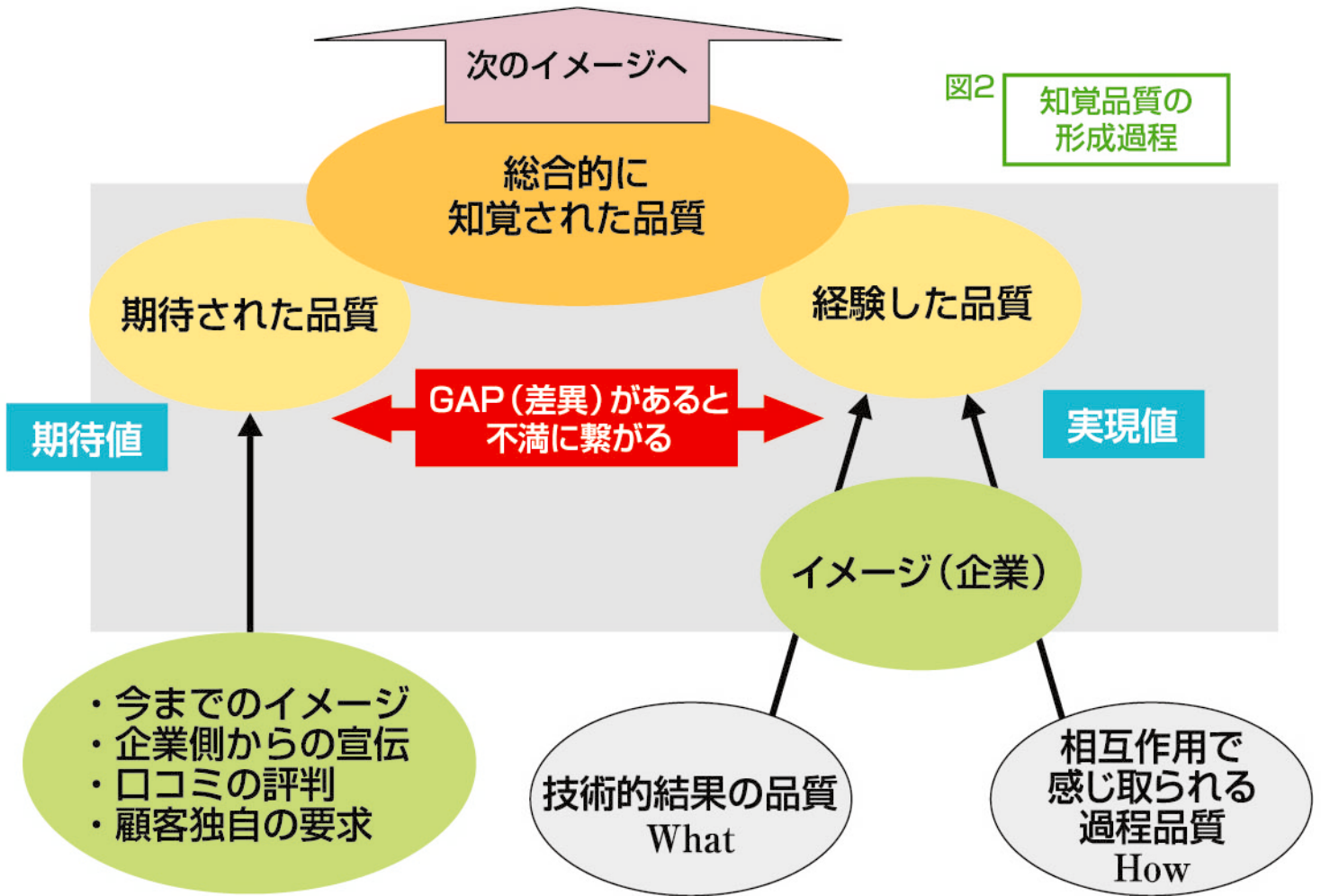


ソフト
に対応が困難ということでもある。消滅性は、返品ができないという点で、不可逆性があるともいえる。

ハード
消滅性への対処
在庫は出来なくても事前に売ることができる。予約販売である。サービス提供日前であれば、予約は返却可能で、それを再販売することも可能である。予約日

出典：「パチンコ参加実態調査2007」 エンタテインメントビジネス総合研究所

サービス産業としてのパチンコ店経営



参考：Gronroos, "Service Management and Marketing" (2000) P67

に近づくほどキャンセル料が高くなるのは、そのサービスを再度販売できる可能性が低くなるからである。需要管理や、供給・収容能力の管理が重要となるのはそのためである。収容能力については、上限はテーブル数や、部屋数、遊技台数で決まる。しかし、サービス品質の面からは、その他サービス遂行に必要な投入資源の管理（供給管理）も重要である。ピーク時には社員は本質的な仕事しか行わないなど、業務内容を見直し効率を上げる方法を講じておく。

オフィス街の居酒屋は、昼のメニューを定食のみとしてサービスの所要時間を削減している。他の業種でも、必要書類を顧客に書いてもらったり、自動チェックインに顧客を誘導したり、スーパードラッグを顧客にお願いしたりなど、サービスへの消費者参加の工夫がなされている。セルフレジも此の一貫である。一円パチンコになると、顧客の滞留時間は長くなる。台の視点では稼動は上がるが、顧客数で行くと収容能力は落ちるといえるかもしれない。その時、従業員の数を減らせるかということは重要なポイントだろう。

機動的な需要調整を行う業界がある。デマークティングと言われる、繁忙期の値上げもある。北京五輪期間中の北京の



ホテル代は通常の10倍になると言われている。閑散期（時間帯）に別のサービスやメニューを提供して異なる客層を誘引する努力もされる。たとえば朝マック（マックグリドル）等である。また、補完的サービスの提供を行うことで顧客を待たせる（在庫する）という方法もある。レストラン付属のバーで飲料の売上げをちやつかり上げながら、テーブルが空くのを待ち頂くなどである。

参考・ローイ他、白井義男監修『サービス・マネジメント 中』

6 過程と結果の総合評価

総合評価とは

モノの場合は工場での生産過程を経た結果の製品のみで総合評価がなされる。サービスの場合は、顧客は結果のみを知覚するのではなく、過程も経験せざるを得ない。サービス品質の評価は過程と結果の評価の統合過程で形成される。

サービスの生産工程そのものがサービス商品であり、この工程、活動過程が顧客に与える影響を十分考慮した設計を必要とする。レストランを決める際に、味とボリュウムのみで決めるだろうか。時にはそうかもしれないが、気持ちよいひとときを従業員達がどう提供してくれるかという要素も重視するであろう。

もし結果のみが顧客の評価対象であれば、冷静なパチンコプレイヤーは、統計的に一人も居なくなる。負けてもパチンコを続けようと思う人は、負けが受忍限度内である限り、結果だけでなく過程の気持ち良さ、高揚感等も評価対象としているからである。過程の重要性から「真実の瞬間」（これも次回以降に説明する）を捉え、「経験を管理」ということが重要になる（図2参照）。

7 時間要素の重要性

サービス品質の評価を左右する重要要素に、時間がある。モノの生産であれば、コスト見合いでの最適の速さを達成することが目標となる。しかし、サービスは顧客が固有に持つ心地よい時間を探り、不快に思う時間を越えないようにしなければならぬ。これは一律に早ければ良いということではない。マクドナルドは客を2分以上並ばせない。順番が来たら60秒以上待たせないのが目標と言われるが、高級フランス料理店で、60秒でオーダーしたお料理が出てくると評価を下げるのである。飛行機に乗るときの待ち時間より、降りてからの荷物受け取りの時間を長く感じる。ホテルのチェックアウトや、レストランのレジで待たされたくない。

パチンコ店で、グラントオープンの日、営業終了時にPOSで長く待たせると、一気に顧客満足を落とすかもしれない。少なくとも、待ち行列に不公平が出ない工夫はしなければならぬ。かつて東急本店で、暑い夏の朝、開店前に並んだ私たち顧客を風除室まで招き入れ、冷たい麦茶を提供してくれた経験がある。麦茶が伝説になるのである。パチンコ店において、玉詰まりの時、直ぐお絞りを提供するお店があるが、感覚的な待ち時間を短くする手法と言えよう。

彼はプロ野球選手だった

水沼 宣之

「何事も気合、やる気。絶対ファイバーさせる。そう言う心積もりで向かうこと」「絵柄の並びで当たりのサインを推理したり、当たりの波の周期を読んだりはしない」――

こちらは人それぞれの具体的なパチンコ必勝法を聞き出そうとしているのに、お構いなしで最後までこんな具合だから、メインの記事を作ろうにもかなり苦労した覚えがある。

15年前、パチンコ担当だったとき、この人に登場してもらえば、さぞかし読者も喜ぶだろうと彼に取材を受けてもらったことがある。

彼はプロ野球選手だった。底抜けな明るさで人気が高く、引退試合となる日本シリーズで代打ホームランを打ち、ダイヤモンドを回る姿に胸を詰まらせたファンも多かったはずだ。その後は解説者の道を選び、第2の人生を送っていた。

取材中、パチンコって野球と何か関係ありますか：、と水を向けたとき、腕組みしながら「リーチアクションの小刻みなフェイント。あれは盗塁するとき、ピッチャーを出し抜くための参考になる」と答えてくれた。

笑いをこらえるのに必死だったが、後で一瞬でも笑いそうになった自身を恥じた。彼は野球の技術を高められるなら、どんなことでも貪欲に取り込んできたのだろう。だからこそ、この生き馬の目を抜くような世界で、人生の半分を野球とともに歩むと言っ幸せに浸っていられる

のではあるまいか、と。

その後、私がプロ野球の担当記者になり、朝に夕に選手を追いかけていたある日、試合前の練習中、球界OBとしてグラウンドに現れた彼とばったり出くわした。

「ここで何してるんだ？またパチンコか？それならまずオレに聞かなきゃだめだろう」。人一倍大きな声で語りかけてくる姿に人に好かれる秘訣を見た感じがした。

それにしても今どうしているのだろう？

私がプロ野球担当から離れてすでに10年が経つ。彼はと言えば、古巣のコーチを経て、アテネ五輪の日本代表を裏方として支え、銅メダル獲得に貢献した。だが、北京五輪のスタッフに漏れたという。この原稿を書いていて、その後の去就が妙に気になった。

本当にどうしているのだろう。だが、自宅では滅多に見ないテレビのスイッチをひねって見たら何のことはない。また解説者として伸び伸びやっっているではないか。現役時代によく口にした「絶好調」。画面からそんな雄叫びが今にも聞こえてきそうだった。

初パチンコは、勝ったのか、負けたのか

田村 正彦

パチンコを始めてから、もう何年になるだろう。子供の頃は、店の前を通ると派手なネオンサインとけたたましい騒音が聞こえるパチンコ店とはどんな店なのか、想像もつかなかった。私の周囲にはパチンコをする大人が全くいなかったからだ。

しかし、そんな私でも中学生ともなれば、色々な情報からパチンコとは如何なるものかが、なんとなく分かるようになった。それに18歳未満は遊技ができないと言っことも。18歳と言えば、高校3年生の年齢だ。高校3年イコール卒業と言っイメージも重なって、それからの私には18歳という年齢が、ひどく大人びた存在に感じられた。

そして、ついにその日が訪れる。9月28日。それが私の誕生日。しかし、18歳になったからといってすぐに「あこがれのパチンコ店」に行くことはなかった。なんとなく一人で行く勇気がなかったのである。「友達と一緒に行く」と決めてみたものの、その仲の良い友達の誕生日はまだ半年以上先だった。そのうち大学受験に追われる日々が続ぎ、パチンコへの思いも消えていった。

その思いが復活したのは、大学に入学して半年以上も経った頃。ある日、いつものように大学に行くとき突然の休講の報せ。拍子抜けするとともに、手持ちぶさたの空き時間をどうするかを考えていたときにパチンコ屋の前を通りかかった。すでにパチンコ店に出入りする友も多く、

パチンコに対して気負ったり、構えたりする気持ちはもうない。ひよっこり入ると、まず目についたのは千両箱を何箱も積み上げている風景。その箱に入った膨大な玉の数が、一体どのくらいの数量になるのか見当もつかず驚いたのを覚えている。

そのときにした初パチンコは、勝ったのか、まけたのか。今となっては記憶にない。ただ、その後は大学にいる時間よりも、パチンコ店にいる時間の方が長かったような気がする。つまり見事にハマッてしまったのだ。

最近になってしみじみ思うのは、私は何故パチンコをするのだろうか、ということ。当然「勝つ」ことの快感があるからなのだが、それ以上に思うのは「無の境地」に近い状況になれることだと思っている。パチンコ台の前に座ると無心でいる自分に気付く。ただ、モニターのリーチアクションを見つめドキドキする。そのときは嫌なことも、嬉しいことも忘れている。ただ、ドキドキしている自分がある。それは日常生活の中で、なかなか得られる境地ではない。そんな自分に会いたくて、今日もパチンコ店に行く自分がある。

(サンケイスポーツ・営業局広告部)

バブル華やかなりし頃…

大橋 句子

スポーツ新聞で広告を担当していることから遊技産業健全化推進機構と出会いました。ずいぶん長い名前だなあ、これまでこういう団体はなかったのだろうか、第一印象はそんな感じでしたが、趣旨や活動の内容を聞きますと「なるほど、今まさしく社会で一番必要とされていることだな」と納得させられました。

かつてバブル華やかなりし頃は、若者もちょっとリッチで、ゴルフやスキー、海外旅行とよく働き、よく遊ぶと言う図式があり、その中には競馬やパチンコも入っていて、若い女性が競馬場やパチンコホールに行き始めた頃でした。

それまでは、汚くて入りづらい雰囲気だった施設も女性を意識したオシャレな感じにどんどんリニューアルされて、行きやすくなったという事情もあります。

例に漏れず、アタラシモノ好きだった私は友人に連れられ、こっそりホールの自動ドアが開く瞬間に空いてる席めがけて、サッと座ったのを覚えています。あまりにも早く千円札がなくなってしまうのにはビックリしましたが、一度フィーバーを味わうと、性懲りもなく常夜灯の明かりに寄って来る虫のようにホールのドアに吸い込まれてしまいます。

当時はカード式ではなく現金のみで、出そうなとき慌ててお金を崩しに両替機へ走ったりと大変でしたが、そのうちにどんどんカード式があつという間に広がると、益々パチンコに夢中

になって行きました。それまでは、1回のフィーバーで終わっていたのが、確変機の登場で2回、3回必ずフィーバーするということでパチンコファンの裾野が広がっていったように思います。

現在はうって変わって、景気も沈滞し、社会情勢も悪化している中で、パチンコは単なる娯楽の域を出てしまったようで、パチンコをするのはある決まった人たちのみ。「暇だからちょっとパチンコでもしに行こうか」と軽い気持ちで楽しむ娯楽ではなくなっていました。

実際、私もここ一年くらい行ってません。あまりにも沢山の機種が出すぎて、それぞれに打ち方、出方、リーチアクションが違うので、勉強しないとついていけない上、「出す」、良心的なホールが激減してしまいました。まあ、一番の原因は、以前よりお金が掛かることなのですが、1か月分の小遣いが一瞬で消えてしまうのは、痛いですね。

そもそもパチンコは楽しいもの。日常生活に支障をきたさない程度の金額で、私のような素人でも、短時間でも楽しめるような「パチンコホール」がもっとあるといいですね。

(デイリースポーツ・広告事業局広告部)

パチンコ パチスロ 青春記

私がホールで体験した
ある意味でくだらない
お話を紹介したいと思う
暇つぶしに読んでください



文・羽地賦郎
イラスト・末永士朗

は露骨に出ない：etc.

こういった話はパチンコやパチスロにつきものだ。

私も、こういった噂の類は信じるほうで、もちろん神の存在も信じている。(信心深いわけではなく欲が深いから神頼みばかりしている…)

しかし、これらのことがあり得ないことは業界関係者ならご存知のはず。確かに過去、遠隔操作などを行って摘発されたホールもあったが、こういったふざけたホール側の行為は、ここでは除外して話を進める。

今から二十数年前、半分パチプー、半分学生という身分であった私は、やることもなく、毎日ぶらぶらしていた。

そんなある日、知人がホールコンピュータに関する美味しい話を持ってきた。なんでも某ホールに導入されたホールコンピュータは、出玉をコントロールできる機能がついている。そしてその機能は、遊技機個別にコントロールするのではなく、遊技機の島ごとにコントロールできる、というものだった。

話を聞いただけでは、何が美味しいかわからなかったが、知人は「島ごと」というのがミソだ、と言って判り易く以下の説明をしてくれた。

ホール側は当然、商売だからお客から吸い上げるだけでなく、お客に出すこともあるわけだが、それを例えばスーパーパーコンピという一発台(実際は普通機)で

ホール側の出玉操作と 神の見えざる手

あのホールは、従業員が後ろでマイクに向かってゴソゴソ言った途端、連チャンがストップした…

あのホールは、従業員に強く苦情を言ったり、防犯カメラに泣きそうな顔を向けると大当たりする…

あのホールは、コンピュータで出玉をコントロールしているから、給料日の後

今回のお話は、
パチンコに
神の見えざる手による「出来事」が
あるのか、ないのか、
についてである。

行くとすると、当然、鳥ごとに出そうとするわけで、そのホール側が出そうとする時間帯にその島で遊技をすれば、必ず大当たりするといふのである。

もっと具体的に書くと、スーパコンピはなかなか入らないクルーンというステージに玉が飛び込んで、そのクルーンに3つある穴の中の一の手前の穴に玉が落ちれば大当たりになる仕組みである。店側がお客に出そうとする時は、鳥ごとに、多くの台がほぼ一斉にクルーンに玉が飛び込む状況になるから、それを見て空いている台に座っても大当たり間に合う…、というなんともマユツバものの美味しい話であった。

しかし、これがその通りだったのである。

私は騙されたと思いつつも、某ホールのスーパコンピの島の近くで、ハネモノなどを打ちながら、他の客がクルーンに球が飛び込むのを待っていた。そして誰かが大当たりしたり、クルーンに玉が飛び込めば、直ぐに空いているスーパコンピに座って遊技開始。すると、あら不思議…、なんとクルーンに玉が飛び込むことが非常に多かったのである。もちろん釘の良し悪しも関係なしである。

また、玉が手前の穴に落ちて大当たりするかしないかは、三分の一の確率？だったような気がするが、このふざけた攻略法？でそれなりに好成績をあげたのは事実である。

当時、私の部屋の冷蔵庫には、かなりの札束（千円札も多かったが）が入っていたことから考えても、効率の良い儲けだったのだと思う。

今でもホールに設置してある遊技機の裏を見るにつけ、なぜスーパコンピのクルーンに玉が飛び込むのをホールがコントロールできたのか不思議でならない。当時でさえ出玉を鳥ごとにコントロールできるシステムがあり得るわけがないと思っていたし、今の技術を持ってしてもあり得ないことだと思っからだ。（あくまでもデジパチの遠隔操作等は別です）

システムとして、台のネカセを利用して傾けるなどの行為を行っていたのかも知れないが、これとて島全体を一斉に傾かせることなど、相当な設備が必要で、費用対効果を考えると無駄に思える。つまり、あり得ないという結論に至るのである。

個人的にこの現象は、神のみえざる手によるものであったと信じている。もしこの行為が可能なシステムがあったとしたら、誰か教えて頂きたい。

次の神のみえざる手の話は、前述の話のさらに2〜3年ほど前の話である。当時は、パレルという権利モノが一発台として使用され、人気のあった時代である。

昭和60年の風営法施行以前のことであり、ゲームセンターなどは24時間営業を行っていた。そしてテレビゲームも大好きであった私は、悪い知人にそそのかされて、毎日のようにパチンコが終わった後、都内の某繁華街のゲームセンターや麻雀喫茶などに入り浸っていた。私がよく通っていた麻雀喫茶は、レートが1ベット100円とそれほど高くないお店であったし、打ち止めになる台もある優良店でもあった。

ここで、謎の業界人の登場となる。

その日、麻雀ゲームで全くといってよいほど勝てなかった私は、残り少ない100円玉でチンタラとゲームを消化していた。隣には二人連れの男が遊んでいたが、そのうちの一人が近くのホールに出入する業者の関係者だったのか、しきりとパチンコの話をしている。そして、その話を聞くと、近くのホールは一発台のパレルで出玉のコントロールを行っている、つまりある特定の時間になると



その台が大当たりする、というのである。話している男は、しきりに指定の時間になれば、そのホールの端台を打てば絶対に儲かるから、というようなことを言

っていた。しかし、話を受けた男は半信半疑なようで、打つお金が無い、というようなことを言っていた。

私も安易にこの話に乗ったわけではない。しかし、ヒマを持って余している私は、なんとなく騙されたつもりで、翌日から一人の男が話していた台を打つことにした。

結果から言うと、これも不思議なことにその時間で大当たりしたのだ。

しかも10日連続で…。

翌日の夕方、某繁華街のそのホールに出向いて、ジャスト17時からパラレルを打ち始めた私はなんと200円で大当たりしたのだ。そして翌日もその翌日も…7日目まではなんと投資金額が200円である。

そのホールの打ち止め個数が6000個で、換金すると15000円。連日、丸儲けというやつである。

8日目からはさすがに200円では当らなかつたが、それでも2000円以内で大当たりをひくことができた。

しかし当然のことながら、こういったバカな話は長くは続かない。

11日目にホールに入店すると、なんと先客がいた。しかもその男は、両替した

100円硬貨を沢山箱の中に入れていた。死ぬまで勝負してやる！との気遣いもなざる男に付き合うヒマはないので、あきらめて退店したが、翌12日目も同様の状況であった。(ちなみに他のお客は17時になってもなぜか大当たりしていなかった)

この日を最後に私はなんとなくそのホールから足が遠ざかったが、儲かってもあまり嬉しくなく、釈然としない思いだけが残る出来事であった。

しかし、なんでパラレルが毎日のように大当たりしたんだろ…？

毎日のように同じ一発台が大当たりしたのは、今、振り返ってみても、神の見えざる手によるものだとしか説明がつかないことだと思う。

私を含め、多くのファンは、いろいろな縁起をかついだり、勝利の女神に祈ったりしてパチンコやパチスロを打っているのだと思う。

傍から見ると迷信やオカルトにしか思えないこうした行為も、あながちそれだけで片付けられない、何かがあるのかもしれない。

パチンコホールには様々な不思議があるから面白いのだ。

健全性確保のための もうひとつの視点



三堀 清

みほり きよし

昭和32年 神奈川県生まれ
早稲田大学法学部卒
司法修習終了後
昭和63年 弁護士登録(第二東京弁護士会)し、
大手企業の法律問題を扱う法律事務所勤務を経て
平成8年 早稲田大学大学院修士課程終了
平成9年 三堀法律事務所開設
現在、パチンコホールを始め企業関連の民事事件を手がける

1 パチンコホール営業の健全化 のための社会的評価の向上

パチンコホール営業の健全性を阻害する要因としては、一般に、営業に関する違法行為が少なくないこと(不正改造や脱税等が摘発される事例が少なくない)、射幸性に頼った営業による弊害が生じたこと(前述の不正改造の他、のめりこみの問題、すなわち借金等による生活破綻や放置された子供の事件・事故が頻発した)、それに不明朗な換金の問題があることが挙げられる。

そして、これらの要因を取り除くことこそ、ホール営業の健全化への道であるということも衆目の一致するところである。

しかし、パチンコホール業界の「健全化」とは、単に違法行為をしないこと、

低射幸性の遊技機で営業すること、換金を少なくして3店方式を守ることであることに尽きると短絡すべきではなく、個々のホールが形式的に法令に違反をしないだけでなく、その背後にある社会常識に則った活動をする事、すなわち、企業としてその社会的責任を果たすことこそ重要である。

企業が社会常識に則って活動する・社会的責任を果たしているかどうかということは、社会一般の目から見た、その企業に対する社会的評価に直接的に反映するものである。

となると、パチンコという遊技、ホールという営業所及びその経営主体であるホール業者が、社会一般の目にどう写っているのかという問題を抜きにしては、ホール業界の健全化は語れないということである。

もっと簡単にいえば、パチンコを一切やらない人も含めた社会一般の常識人が、ホールをよからぬ「雰囲気」の場であるという印象を持つようでは、健全化への途は遠いのである。

2 遊技に関する契約の 付随する配慮義務

ここで、パチンコに対する社会的評価であるとか、ホールの「雰囲気」というような、抽象的で漠然とした概念が法律的な問題といえるのか、という疑問が生ずるかもしれない。

しかるに、ホールと客との契約関係に着目するとき、ホールは客に対し、一定の範囲で安全で快適な環境の下で遊技を提供する法律上の義務を負っていると考えられ、このような法律上の義務を誠実

に履行しているか否かにより、ホールの「雰囲気」が良くなったり悪くなったりする、すなわち健全性が向上したり不健全になったりするという関係があり、法律上の問題としてもホールの「雰囲気」（及びこれに対する社会的評価）が捉えられるのである。

ところで、ホールと客との契約関係とは、ホールが客に有償で玉・メダルを貸して遊技機でのプレイというサービスを提供し、かつ、出玉を獲得した客に対して玉数に応じた景品（賞品）を提供することを内容とする遊技に関する契約関係のことである。この契約は、入店した客とホールとの間で玉の貸し借り・プリペイドカードの売買がなされることにより直ちに成立するもので、契約書等を作成するものではない。

そして、遊技に関する契約の成立により、ホールは客に対してプレイをさせる義務を負うのであるが、プレイをさせる義務には、同時に、客に対して、このプレイを安全かつ快適な環境で提供すること等を内容とする一種の配慮義務を伴うものと解釈される。

また、同じく遊技に関する契約の成立により、客はホールに設置した遊技機にて借りた玉を使ってプレイする権利を取得するが、このプレイをする権利はあく

までも法令及び店の定めたルールに従うという義務を伴うのである。

3 安全かつ快適な環境での

プレイを提供する 配慮義務の具体的内容

以上、遊技に関する契約により、ホールは客に対して安全かつ快適な環境でのプレイを提供する配慮義務を負うが、その具体的内容は、以下のとおりである。

第一に、客の生命・身体・財産に対する配慮義務である。

ホールが、不特定多数の客を招き入れ、営業する以上、客の生命・身体・財産の危険にさらしてはならないという法律上の安全配慮義務を負うのは当然である。

これは、営業所の建物の構造や設備が法令に準拠した以上の安全性を備えるべきことは勿論、他の在店者により客の生命・身体・財産が侵害される危険を生じさせないように一定の注意を尽くす義務までを含む。

具体的には、店内への危険物の持ち込みを禁止すること、店内で暴行や窃盗等の犯罪が発生しないように巡回したり死角をつくらないようにすること、また他の客の生命・身体・財産を侵害したりその可能性がある事態を現認した場合には、

注意・制止したりすること、他の客の安全を脅かしたりその可能性がある者を退店させたり入店禁止とすること、犯罪に当たる行為があったときには警察に通報すること等、施設の管理者として期待される対策を適切に遂行するという注意義務である。

このことを社会的評価という見地から反面的に見れば、ホールが暴力沙汰や盗難が頻発する危険な場所であっては、最も「雰囲気」が悪い場所となってしまうということである。

客の安全に対する配慮義務が十分に尽くされていることが、この点での健全化の第一のステップなのである。

第二には、快適な遊技環境を提供する配慮義務である。

ホールの客はプレイを「楽しむ」ために来ているのであるから、プレイの結果が誰にも邪魔されずに公平なプレイを楽しめるように配慮することが、快適な遊技環境を提供する最低限の義務であるといえる。

これは具体的には、他人迷惑なけしからん輩（酔っ払いや、攻略法を売ったり高利の金融を持ちかけたりするような輩）が店内に入り込まないようにすること、不正なプレイや違法行為をさせないこと、

また現に迷惑行為やルール違反行為をしたりその可能性がある者を現認した場合には、注意・制止したり、退店や入店禁止とすること等、施設の管理者として期待される対策を適切に遂行することである。なお、ゴト行為やルール違反のプレイは店が第一の被害者であるが、また、客にとってもゴト行為やルール違反が野放しにされているということは、公平なプレイの場が提供されていないことであることを認識するべきである。

このことを社会的評価という見地から反面的に見れば、他人迷惑な輩が出没したり、ゴト行為や手放し遊技が横行していたり、18歳未満の年少者によるプレイが見て見ぬ振りをされたりしているホールは、相当に「雰囲気」が悪い場所となってしまうということである。

客に快適な遊技環境を提供する配慮義務が十分に尽くされていることが、この点での健全化の第二のステップである。

4 風適法の目的との関係

以上、ホールの健全化のための新たな視点として、ホールの「雰囲気」をよくすることが必要であり、このことは、遊技に関する契約に基づく法律上の義務でもあるということを確認した。

ホールの「雰囲気」というものが、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（風営適正化法・風適法）とどのように関係するのかという点に付言すると、同法は「善良の風俗と清浄な風俗環境を保持し、青少年の健全な育成に障害を及ぼす行為を防止」することを目的としているところ（同法1条）、遊技客に「雰囲気」が悪いと感じられるホールは、営業所の枠を超えてその立地する地域社会の風俗及び風俗環境に悪影響を及ぼすことは論を待たない。

しかしながら、抽象的なホールの「雰囲気」を規制の対象としたりすることはできないし、また、同じく抽象的な「善

良の風俗及び清浄な風俗環境」を害するか否か、「青少年の健全な育成に障害を及ぼす」のか否かということについて法的な基準を設けるにも自ずと限界がある。

ここに、客に対する契約上の配慮義務を尽くすというホール業者の自助努力が、善良な風俗環境を保持し、青少年の健全な育成に障害となる行為を防止するという法の目的に適した社会的な責任を実現することになると共に、パチンコに対する社会的評価を向上「健全化」の一つのカギである、ということをも十分に自覚する必要がある。

パチンコを一切やらない人も含めた
社会一般の常識人が、
ホールをよからぬ「雰囲気」の場である
という印象を持つようでは、
健全化への途は遠いのである。

データでみるパチンコ業界

Yesterday, Today And Tomorrow

第八回

地道な活動で ファンを増やす

必要とされている
改革

グラフ1は、過去1年間でパチンコ、パチスロをしたことのある人の推移を示したものです。（「パチンコ参加実態調査」：エンタテインメントビジネス総合研究所）2007年はパチスロ4号機の撤去という大きな出来事もあり、パチスロのみをする人の人口は減ったものの、パチンコ、パチスロをする人々の全体の人口はやや増加となりました。しかし、遊技人口の低落傾向が完全に止まったとは言いきれません。同じように長期的な人気の低落に悩んでいるのが大相撲です。この初場所こそは朝青龍の3場所ぶりの復帰というニュースもあり、「満員御礼」の垂れ幕が下がる日が6日ありました。しかし、日本人横綱の不在からでしょうか、相撲人気は今ひとつです。

そもそも朝青龍の休場は、朝青龍が巡業を休んでいるながら、モンゴルでサッカーをしていたことに端を発しました。さらに昨秋から世間を騒がせている時津風部屋の序の口急死事件もありました。このような問題が大相撲の人氣低落に拍車をかけているのかもしれませんが。

古い体質が
他の競争への
流出を生む

特に、序の口急死事件は相撲部屋が古い体質であることを感じさせます。これは新弟子の応募にも影響を与えます。昨年の7月2日に新弟子検査開始以来初の受験者ゼロという事態が起きました。これは、時津風部屋問題がニュースとして大きく取り上げられる以前のことで、しかし、問題の発覚後の11月の新弟子検査では、他の部屋の入門を予定していた新弟子からもキャンセルが続きました。身体的能力に優れた若者は、他の格闘技やスポーツに流出してしまう可能性があります。新弟子が入門しないことには将来の横綱が育つはずありません。角界の人氣回復には重要なことです。同様なことはパチンコ店にも言えるのではないのでしょうか。

約30万人の従業員を
必要とする
パチンコ業界

グラフ2は、総務省統計局の「サービス業基本調査」による「パチンコホ

「ール」事業所数と従業員数の推移です。現在、パチンコ業界は約30万人の従業員を必要としていることが分かります。ところが、この従業員を確保することが難しくなっています。

先に見たとおり、パチンコ・パチスロをする人々は減少し、パチンコ業界は厳しい環境におかれています。そのため、経営の効率化、コストの削減が求められています。人件費もその対象になります。今までのパチンコ業界は、パートやアルバイトの時給を上げること、人材を確保してました。

ところが、その時給も上げられなくなっています。コールセンターやデータ入力などの他のアルバイトでも、パチンコ店と大差ない時給を得られるものがあります。

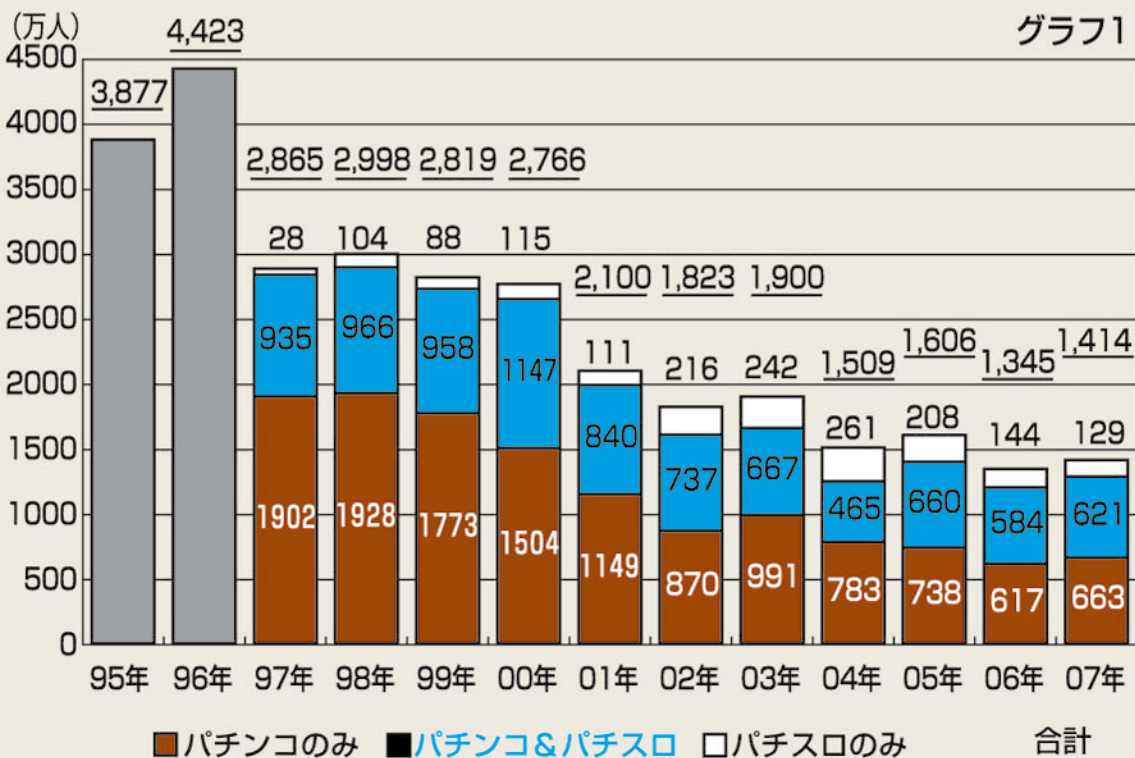
また、最近の労働観は変化してきています。苦勞をしてお金を得ることより、ほどほどに働いてほどほどに稼げばよい、という風潮もあります。そのため、パチンコ業界が人材を確保することが困難になっているのです。業界もパチンコ業界も古い体質、古い発想を捨てなければ、人材を確保していくことは困難です。

誤ったイメージを払拭させるために

時津風部屋のニュースが明らかになる以前から、相撲部屋のあり方は変わってきています。前近代的な師弟関係や修行のイメージでは新弟子は集まりません。最近では、ホームページやブログなどを開設して、日頃の生活の様子を紹介する相撲部屋も増えているようです。現在がどのようになっているのかを知らせなければ、旧来のイメージを拭い去ることはできません。店内の煙たさや騒音、それに遠隔操作などについて、一般の人々はパチンコ業界に対して、誤ったイメージを持っていることが多々あります。リカバリーサポートネットワークによる依存症問題に対する取り組みや遊技産業健全化推進機構による不正問題への取り組みなどは、パチンコ業界の現状として広く一般の人々に知ってもらいたいことといえます。

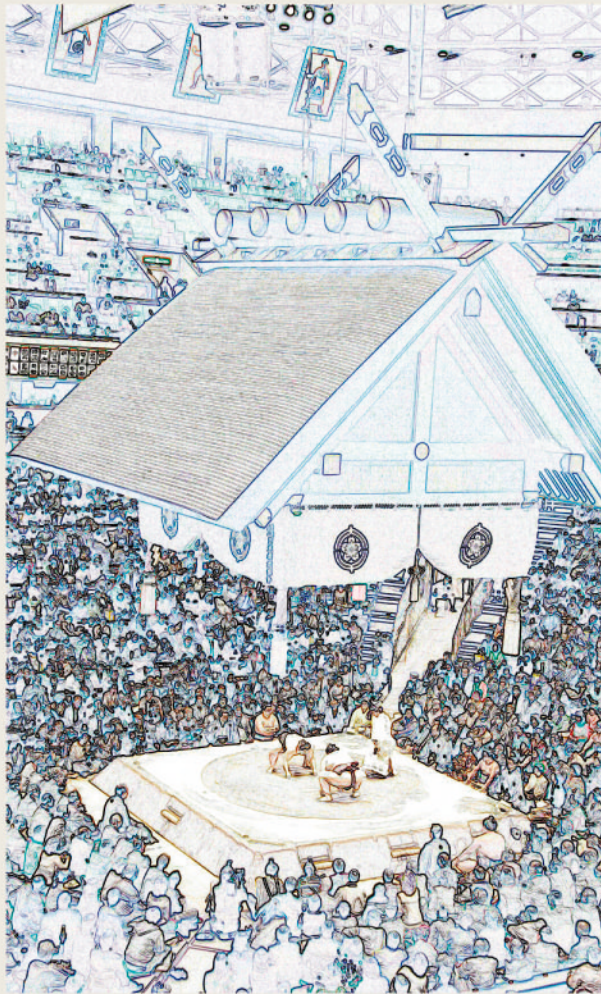
パチンコ店が寄付や社会貢献活動をする理由

そして、その自分たちの様子を多くの人々に知らせるために、大昔から業界が行っていたのが巡業です。巡業では、普段テレビでしか見ることができ



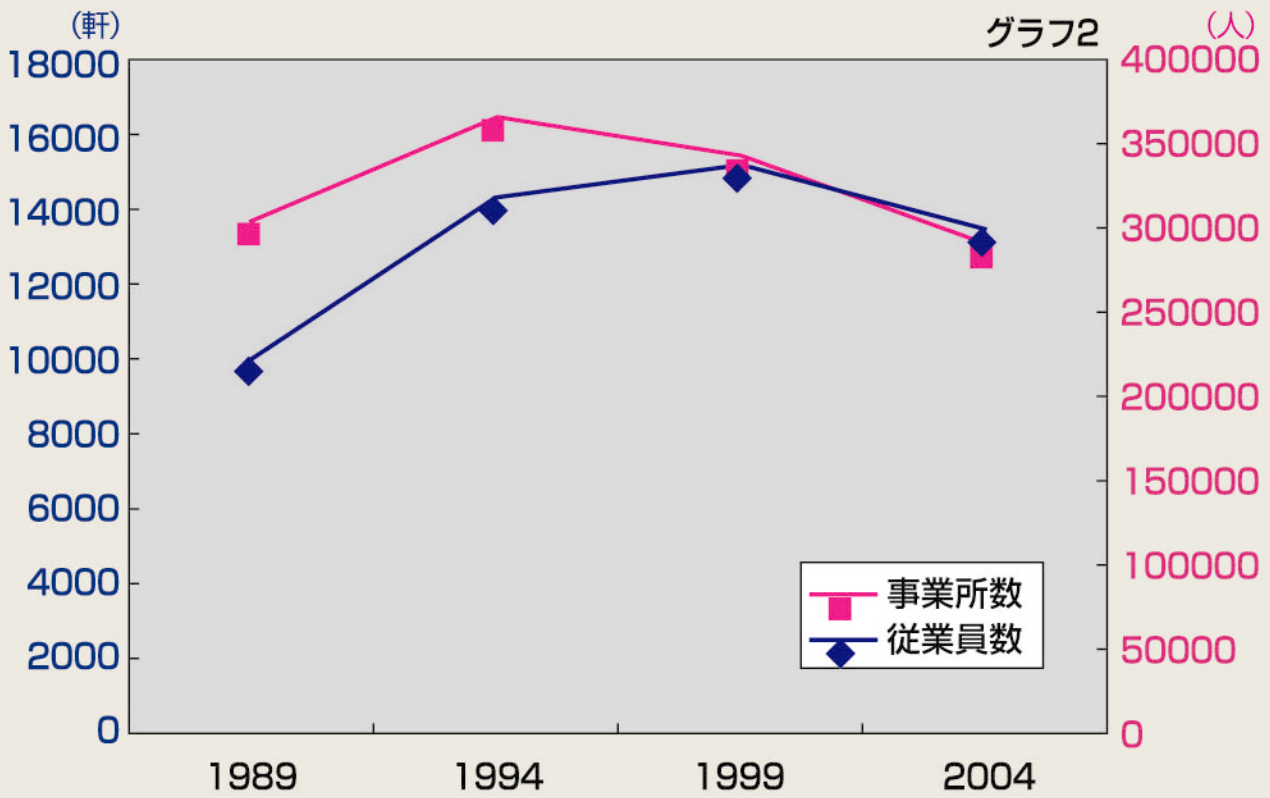
地道な活動でファンを増やす

相撲部屋のあり方は変わってきている



ない力士たちを地方の人々も間近で見ることができません。実際の取組を間近で見ても、将来の力士を志す子どもも出てくるのではないのでしょうか。同じようなことをパチンコ業界でも行っています。地域的に遠いところへいくという意味ではありません。パチンコ、パチスロへの関心が薄い、一般の人々や今はパチンコ、パチスロをしなくなった人々、言わば普段はパチンコに関心が薄い人々に対して、我々の業界を知ってもらえるような活動です。それ

が、多くのパチンコ店や組合が行っている寄付や社会貢献活動なのでしよう。我々パチンコ業界が地域社会にお役にたっていることを示すためには、このような寄付や社会貢献活動も必要なのです。
巡業が本当の力士の姿を知る機会になるように、パチンコ企業の寄付や社会活動もパチンコという事業を知ってもらう機会になります。
遠回りをしていても、地道な活動がファンの拡大につながります。



【協力】株式会社 エンタテインメントビジネス総合研究所

KiK NEWS お知らせ

編集後記

ゴト

ホール経営者にとってゴト師くらい腹立たいものはないだろうと思う。全日遊連から送られるゴト情報に寄れば、その手口がいろいろあつて驚かされる。最近特に目立つのが「持込ゴト」だ。1円パチンコの玉を4円で景品交換したり、廃業した店のものを持ち込んだりする。ホールでも不審者を見張り随分撃退しているようだがそれでも被害はあとを絶たない。

で、ゴト対策をお店の協力をいただいて特集した。参考にしてもらいたい。

(F)

不正を摘発されたホールは…?

「白い恋人」「赤福」「船場吉兆」いずれも不正が発覚して営業停止になった菓子や老舗料亭だ。ところが営業再開の許可が出て商品が店頭に並ぶと品切れになったり、徹夜の行列が出来たり、料亭の場合は予約が取れないほどの盛況だ、と言う。

一時の現象かもしれないが、何かおかしいのではないか、日本も変わってしまったのか、と思う。冷凍餃子に殺虫剤や農薬が混ざっていた事件ではさすがに手を出す人はいないようだが、不正や疑惑には鈍感になってきた風潮

(H)

神の存在

が感じられてならない。さて遊技業界不正で摘発されたホールが再開した時大入り満員となるかどうか。(R)

そんなに深く考えたわけではないが、神の存在を信じている。今月号の青春記にもパチンコの神様のことを書いたが、どの世界にも神様はいる。

例えば株の取引にも。なぜか自分が買った株は下がり、損失に耐えられなくなつて売つたら株価は上昇する。そして、何度やられても懲りない私は同じ過ちを繰り返す。まるで人生のように…

機構の新聞広告第3弾(左頁)を紹介します。昨年8月8日付けの機構設立1周年で全国のスポーツ紙、夕刊紙に一齐に掲載した第1弾に続いて、今回は同じく全国のスポーツ紙、夕刊紙の9紙。2月13日(水)、14日(木)、15日(金)の3日に分けて3紙ずつに掲載した。

13日は日刊スポーツ、東京中日スポーツ、日刊ゲンダイ、14日は報知新聞、デイリースポーツ、東京スポーツ、15日がスポーツニッポン、サンケイスポーツ、夕刊フジ。「安心して遊べるパチンコ・パチスロを目指して<不正 許しません!>」のコピーを支えるように、タカが鋭い目を光らせている。中央部分には機構とともに全国で不正防止に奔走している44の団体名を列記した。

今年1月9日付の毎日新聞、産経新聞、東京新聞に掲載した機構の新聞広告第2弾では遊技業界に健全化推進機構の存在があることを初めて知ったと言う声などが多数寄せられ反響の大きさに驚かされたが、2月の第3弾ではどんな反応があるか。「不正防止」に積極的に取り組む機構以下業界の姿勢をぜひ知って頂きたい。

安心して遊べるパチンコ・パチスロをめざして

不正許しません!

新設 遊技産業
健全化推進
機構

機構とともに
全国で眼を光らせています

- 北海道遊技関連不正防止対策機構
- 青森県遊技業協同組合 青森県不正防止対策委員会
 - 岩手県不正防止対策推進委員会
- 宮城県遊技業協同組合 宮城県不正防止対策委員会
 - 秋田県不正防止対策委員会
- 山形県遊技業協同組合連合会 不正防止対策委員会
 - 東京都遊技場組合連合会 健全化センター
- 茨城県遊技業協同組合 不法不正排除対策委員会
 - 栃木県不正防止対策委員会
- 群馬県遊技業協同組合 不正防止対策委員会
 - 埼玉県遊技業不正防止対策委員会
 - 千葉県遊技業不正防止対策委員会
- 神奈川県遊技場協同組合 不正防止対策特別委員会
 - 新潟県不正防止対策委員会
 - 山梨県不正防止対策委員会
 - 長野県不正防止対策委員会
- 静岡県遊技業協同組合 不正防止対策委員会
 - 石川県不正遊技機排除推進委員会
 - 福井県不正防止対策委員会
- 岐阜県遊技業協同組合 不正防止対策委員会
 - 愛知県不正改造遊技機排除推進委員会
- (三重県)三遊協不正防止対策委員会
 - 滋賀県不正防止対策委員会
- 京都府遊技業協同組合 不正防止対策委員会
- 大阪府不正遊技機監視連絡協議会 不正遊技機監視実行委員会
 - 兵庫県遊技業協同組合
 - 奈良県不正防止対策推進委員会
 - 和歌山県不正防止対策推進委員会
 - 鳥取県不正防止対策委員会
 - 島根県不正防止対策委員会
 - 岡山県不正防止対策委員会
 - 広島県不正防止対策委員会
 - 山口県不正防止対策委員会
- 香川県遊技業協同組合 不正防止対策委員会
 - 愛媛県不正防止対策推進委員会
- 高知県遊技業協同組合 不正防止対策委員会
 - 福岡県不正防止対策機構
 - 佐賀県不正防止対策委員会
 - 長崎県不正防止対策委員会
 - 熊本県不正防止対策委員会
- 大分県遊協 不正防止対策委員会
 - 宮崎県不正防止対策委員会
 - 鹿児島県遊技業防犯協力会
 - 沖縄県不正防止対策委員会

第三者機関
遊技産業健全化推進機構
<http://www.suishinkikou.or.jp>



21世紀 パチンコ・パチスロは変わります

有限責任中間法人



遊技産業
健全化推進
機構

Organization for
the Sound Development of
the Pachinko & Pachislot Industry

おかしいと思ったら すぐここへ

<http://www.suishinkikou.or.jp>
スイシンキコウ